平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年6月12日

上場会社名　ウインテスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6721　URL　http://www.wintest.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奈良　彰治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 樋口　真康　TEL 045-317-7888

四半期報告書提出予定日　平成24年6月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第3四半期の業績(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	315	△37.8	△169	―	△171	―	△168	―
23年7月期第3四半期	508	△9.0	△142	―	△142	―	△132	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	△3,422.04	―
23年7月期第3四半期	△2,685.27	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第3四半期	1,160	972	83.6	19,673.72
23年7月期	1,346	1,139	84.4	23,060.58

(参考) 自己資本　24年7月期第3四半期　969百万円　23年7月期　1,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年7月期	―	0.00	―		
24年7月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年7月期の業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	715	22.7	△109	―	△112	―	△109	―	△2,220.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年7月期3Q	49,274 株	23年7月期	49,274 株
② 期末自己株式数	24年7月期3Q	― 株	23年7月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年7月期3Q	49,274 株	23年7月期3Q	49,274 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況の概要…… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におきましては、世界経済の減速や円高の進行が継続するとともに、タイの洪水被害等に起因する経済の停滞もあいまって、景気回復の見通しが不確かな状況が続きました。

当社が属する半導体、フラットパネルディスプレイ業界におきましてはスマートフォン関連等、一部の分野に需要の回復が見られましたが、その他分野における景況感の改善は進まず、顧客の設備投資は低調に推移しました。

このような厳しい経営環境のなかで、当社は半導体関連検査装置の拡販を積極的に推進し、既存顧客のニーズに対応するとともに、新規顧客の開拓や自社製品の開発に取り組んで参りました。また、顧客ニーズに迅速、的確に対応できる営業推進体制として導入した、営業担当とエンジニアが一体化した営業組織による、受注、売上の拡大を推進しました。

加えて、部品調達の効率化と調達先の選別、及び開発工程の見直しによる原価低減と固定費削減策の実施により過去最低レベルの経費水準を目指す諸施策の遂行を継続し、営業損益の改善を図りました。なお、その一環として、役員報酬の一部カットと社員給与の削減を当事業年度初頭に実施しております。

これら結果、当第３四半期累計期間の売上高は315,926千円（前年同期比37.8%減少）、営業損失169,711千円（前年同期は営業損失142,134千円）、経常損失171,965千円（前年同期は経常損失142,339千円）、四半期純損失168,617千円（前年同期は四半期純損失132,313千円）を計上することになりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ159,599千円減少し、1,061,430千円（前事業年度末比13.1%減）となりました。この主な要因は、現金及び預金が234,500千円減少したことと、仕掛品が59,679千円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ26,513千円減少し、98,740千円（前事業年度末比21.2%減）となりました。この主な要因は、工具、器具及び備品が14,095千円減少したことと、投資有価証券が9,536千円減少したことによるものです。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ5,092千円減少し、70,620千円（前事業年度末比6.7%減）となりました。この主な要因は、買掛金が11,917千円減少したことと、賞与引当金が5,404千円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ14,135千円減少し、116,899千円（前事業年度末比10.8%減）となりました。この主な要因は、長期借入金が13,851千円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べ166,884千円減少し、972,650千円（前事業年度末比14.6%減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が168,617千円減少したことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、当期下期に計画していた受注案件数が予想を下回り、売上高ならびに利益の減少見通しがほぼ確定的となりましたため、平成23年９月13日に公表いたしました平成24年７月期の業績予想を修正いたしました。詳細は本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況の概要

当第３四半期累計期間におきましては、国内経済は持ち直しの動きが出始めたものの、円高の長期化及び欧州債務危機の影響から景気は不安定な状況で推移し、当社が関わる半導体業界の景況感も改善せず、顧客の設備投資が引き続き抑制されたこと等により、売上高は315,926千円にとどまり、営業損失169,711千円を計上することになりました。また、営業キャッシュ・フローは主に税引前四半期純損失168,233千円計上及び売上債権が73,527千円増加したこと等から233,341千円のマイナスとなりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社はこうした状況を解消するため、以下の取組みを継続して実施しております。

顧客ニーズに対応した新検査装置や機能拡張オプションの開発により、差別化した製品ラインアップを提供し、売上拡大及び新規顧客の開拓に向けた積極的な営業展開を国内外で図るとともに、部品調達先及び開発工程の見直しによる原価低減と過去最低レベルの経費水準を目指した大幅な固定費削減による営業損益の改善策を推進しております。また、営業担当とエンジニアが組織的にも一体化した営業推進体制は、顧客の支持を得ており、顧客満足度の向上に資する製品開発に努め、今後も新規顧客の獲得に取り組んでまいります。

その他、財務面におきましても必要十分な現預金を有していることに鑑み、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年７月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,368	476,867
受取手形及び売掛金	156,166	229,693
商品及び製品	42,408	―
仕掛品	258,244	317,924
原材料及び貯蔵品	8,661	3,748
その他	44,179	33,195
流動資産合計	1,221,029	1,061,430
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,231	11,231
減価償却累計額	△2,105	△3,248
建物（純額）	9,125	7,982
車両運搬具	12,835	12,835
減価償却累計額	△12,172	△12,255
車両運搬具（純額）	662	580
工具、器具及び備品	159,386	154,773
減価償却累計額	△123,992	△133,474
工具、器具及び備品（純額）	35,394	21,298
有形固定資産合計	45,182	29,861
無形固定資産		
電話加入権	358	358
ソフトウエア	1,747	1,010
無形固定資産合計	2,105	1,369
投資その他の資産		
投資有価証券	31,686	22,150
敷金	14,667	14,135
長期前払費用	31,611	31,224
投資その他の資産合計	77,966	67,509
固定資産合計	125,254	98,740
資産合計	1,346,283	1,160,170

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年７月31日)	当第３四半期会計期間 (平成24年４月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,735	3,818
1年内返済予定の長期借入金	15,173	18,468
未払法人税等	2,911	2,670
賞与引当金	3,420	8,824
製品保証引当金	7,096	4,620
その他	31,376	32,219
流動負債合計	75,713	70,620
固定負債		
長期借入金	123,947	110,096
資産除去債務	5,428	5,488
その他	1,660	1,315
固定負債合計	131,035	116,899
負債合計	206,748	187,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	997,101	997,101
資本剰余金	1,104,350	1,104,350
利益剰余金	△960,528	△1,129,145
株主資本合計	1,140,923	972,305
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,636	△2,903
評価・換算差額等合計	△4,636	△2,903
新株予約権	3,247	3,247
純資産合計	1,139,534	972,650
負債純資産合計	1,346,283	1,160,170

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年８月１日 至　平成23年４月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年８月１日 至　平成24年４月30日）
売上高	508,036	315,926
売上原価	277,901	164,938
売上総利益	230,135	150,987
販売費及び一般管理費	372,270	320,699
営業損失（△）	△142,134	△169,711
営業外収益		
受取利息	291	149
還付加算金	－	247
その他	316	101
営業外収益合計	608	498
営業外費用		
支払利息	347	1,762
為替差損	308	417
支払手数料	135	549
雑損失	22	22
営業外費用合計	812	2,751
経常損失（△）	△142,339	△171,965
特別利益		
固定資産売却益	－	3,096
投資有価証券売却益	13,561	635
特別利益合計	13,561	3,732
特別損失		
固定資産除却損	643	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	402	－
特別損失合計	1,046	－
税引前四半期純損失（△）	△129,824	△168,233
法人税、住民税及び事業税	745	729
法人税等調整額	1,743	△344
法人税等合計	2,489	384
四半期純損失（△）	△132,313	△168,617

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社は、半導体検査装置の貸与、開発、設計、販売並びに技術サポートを事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。